

～ 世界に一番ちかいけん ～

千海研だより

NO. 18

発行：千海研事務局



笑顔で参加できる「千海研」を目指して

会 長 古 山 文 夫 (睦沢町立睦沢中学校長)

コスモスの花が秋風にゆれる季節となりました。各地、各界ではハリケーンを思わせるような台風が矢つぎ早に発生し、新聞から目を離せない日々が続いておりますが、会員の皆様におかれましてはご健康にてご活躍のことと拝察いたします。今年度、先輩の先生方が築いてこられた伝統と歴史のある「千海研」の会長に就任しました私古山文夫と申します。私は平成15年にトルコ・アンカラ日本人学校に赴任、児童生徒数の減少に伴い閉校となった翌年イタリア・ローマ日本人学校に赴任しました。帰国後、現在睦沢中学校に勤務しております。睦沢町では、中学生海外派遣研修事業でシンガポールの現地校との交流を行っております。その歴史も長く今年で18回を数えますがその中で私も団長として4年間生徒と共に現地校を訪問し、国際理解教育の一端を努めさせていただいております。

さて、私は君島前会長から「組織の構築」を目指した推進を引き継ぎました。各日本人学校や補習授業校での皆さんの実践や活躍、苦労、また帰国後の国際理解教育の推進など多くの人に知らせていくことが私たちに課せられた任務の一つだと考えます。そんな意味で帰国報告会・実践発表会は是非成功させねばなりません。

今年度は、6月29日(日)に、役員の方の先生方の努力で千葉県教育庁から教育振興部指導課指導主事渡邊範夫先生、千葉市教育委員会指導課主任指導主事 沼倉 徹先生を指導・助言者としてお招きし、5名の先生方の発表を行う中で帰国報告会が盛大に行われました。お二人の先生方からは「国際化が進む中でこれら貴重な実践発表は、多くの先生方に参加してもらうことにより更に意識が高まるでしょう」とのお話で幕を閉じました。

本会の活動は、山下事務局長を中心に各部の役員の方々にお骨折りをいただいております。私を含め帰国して日が経ちますとお世話になった「千海研」の方々の努力を忘れてしまいがちです。貴重な外国での体験ができたのも「千海研」の歴史を作ってきた先輩達のおかげです。初心を忘れることのないよう、また教育現場で生かしている実践例等を共有していこうではありませんか。多忙な日々ではありますが、一人でも多くの会員の方々の参加を期待しております。

先日、関ブロ神奈川大会が横浜で開催されました。そこでは既に新学習指導要領を先取りした「小学校の英語活動」の実践例が発表されていまして。まさに、海外子女教育・国際理解教育の推進の真価が問われています。平成22年度には関ブロ千葉大会が開催されます。既に役員を中心に企画立案に入っておりますが、皆さんが笑顔で参加できる「千海研」にしていきたいと思っておりますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

最後に、平成21年3月1日(日)海外派遣教員激励会を盛大に行いますので多くの方々の参加をお待ちしております。

姉妹校のベティ校を訪問する (平成20年8月1日)



◇総会報告◇

平成20年6月29日にポートプラザちばにおいて、千葉県海外子女・国際理解教育研究会総会および帰国歓迎会が開催されました。当日の決議内容等を以下に報告します。

1 平成19年度活動報告

4月 3日(火)	第1回役員会【千葉市】
4月 7日(土)	全海研幹事会・全国大会打ち合わせ会参加
5月26日(土)	関東ブロック大会打ち合わせ会参加(品川区日野学園)
6月23日(土)	全海研幹事会・全国大会打ち合わせ会参加
6月26日(火)	第2回役員会【千葉市】
7月 1日(日)	平成19年度 総会・帰国報告会・懇親会 全国大会打ち合わせ会議 【参加者32名】
8月 1日(水)	全国理事会参加(会長・事務局・研究部)
8月 2日(木)	全海研 全国大会1日目(さわやか県民プラザ)参加・協力
8月 3日(金)	全海研 全国大会2日目(さわやか県民プラザ)参加・協力
8月23日(木)	関ブロ東京大会参加(会長・事務局・発表者)(品川区日野学園)
11月24日(土)	関ブロ連絡会議参加(海外子女教育振興財団)
3月 1日(土)	平成20年度派遣教員激励会(ポートプラザちば) 【参加者42名】

2 平成20年度活動計画

5月24日(土)	関東ブロック大会打ち合わせ会参加(JICA横浜)
6月21日(土)	第1回役員会【睦沢中学校】
6月29日(日)	平成20年度 総会・帰国報告会・懇親会(ポートプラザちば) 【参加者25名】
7月26日(土)	全海研シニア派遣研修会(さわやか県民プラザ)参加(27日まで)
8月 5日(火)	全国理事会参加(会長・事務局・研究部)
8月 6日(水)	全海研 全国大会1日目(鹿児島市)参加
8月 7日(木)	全海研 全国大会2日目(鹿児島市)参加
8月23日(土)	関ブロ神奈川大会参加(JICA横浜)
10月 日()	第2回役員会(関東ブロック大会準備委員会)
11月22日(土)	関ブロ連絡会議参加(事務局)
2月	第3回役員会(千葉市)
3月 1日(日)	平成21年度派遣教員激励会(ポートプラザちば)

昨年度(19年度)は、全国大会が千葉県(柏市)で開催され、多数の会員の方々に参加・協力をしていただきました。また、報告会、激励会の参加者数も増えました。

本年度(20年度)の帰国報告会には、千葉県教委と千葉市教委から来賓の先生をお迎えし、有意義な研修ができました。

平成22年度に関東ブロック千葉大会が開催されます。準備をすすめてまいりますので、会員の皆様のご協力をお願いします。



3 平成20年度千葉県海外子女教育国際理解教育研究会役員

NO	役 職	氏 名	勤 務 先
1	会 長	古山 文夫	睦沢町立睦沢中学校 (校長)
2	副会長	川畑 悦郎	千葉市立真砂第五小学校 (校長)
3	副会長	押元 文博	南房総市立健田小学校 (校長)
4	副会長	佐川 和弘	長柄町立長柄中学校 (校長)
5	理 事	末永 明義	船橋市教育センター
6	理 事	熊木 実	船橋市立塚田小学校 (校長)
7	理 事	本多 成人	市川市立信篤小学校 (校長)
8	理 事	矢野 正康	千葉市立稲丘小学校 (校長)
9	理 事	平 彰夫	松戸市立幸谷小学校 (校長)
10	理 事	鶴岡 保雄	千葉市立真砂第一中学校 (校長)
11	理 事	松井 敏	千葉市緑が丘中学校 (校長)
12	理 事	石塚 義昭	千葉市幸町第二中学校 (教頭)
13	理 事	吉川 容司	佐倉市立臼井小学校 (教頭)
14	支部長 (千葉)	行木 一夫	千葉市南部青少年センター
*	支部長 (船橋)	末永 明義	船橋市教育センター
*	支部長 (市川)	本多 成人	市川市立信篤小学校 (校長)
*	支部長 (東葛)	平 彰夫	松戸市立幸谷小学校 (校長)
*	支部長 (印旛)	吉川 容司	佐倉市立臼井小学校 (教頭)
*	支部長 (安房)	押元 文博	南房総市立健田小学校 (校長)
*	支部長 (長生)	佐川 和弘	長柄町立長柄中学校 (校長)
15	支部長 (習八)	菊地 清	習志野市立香澄小学校 (教頭)
16	支部長 (君津)	高浦 明弘	君津市立北子安小学校 (教頭)
17	支部長 (夷隅)	野村 要	大多喜町立総元小学校 (校長)
18	支部長 (山武)	石岡 勝	大網白里町立瑞穂小学校
19	支部長 (香取)	木内 啓次	香取市立東大戸小学校 (校長)
20	支部長 (市原)	三島 孝典	市原市立内田小学校 (校長)
21	支部長 (浦安)	水野 豊	浦安市立北部小学校
22	顧 問	田中 強	財) 海外子女教育振興財団教育相談室
23	顧 問	布川 宏	全国海外子女教育国際理解教育研究協議会
24	顧 問	柳澤 逸夫	船橋市教育センター
25	参 与	君島 憲治	千葉市幕張西公民館
26	参 与	横山 富夫	ストックホルム補習授業校
27	参 与	小林 繁治	船橋市教育センター
28	事務局長	山下 亮	船橋市立葛飾小学校
29	事務局次長	中川 好美	千葉市立稲浜小学校
30	事務局次長	松井 聰	市川市教育センター
31	事務局次長	森山 大光	松戸市根木内小学校
32	研究部長	相場 俊秀	千葉県総合教育センター
33	研究副部長	池田 亘宏	千葉市教育委員会
34	研究副部長	青木 雅之	千葉県総合教育センター
35	研究副部長	野原 学	千葉市幸町第二小学校
36	研究副部長	美濃 哲也	千葉市立松ヶ丘中学校
37	研究副部長	廣瀬 幹	習志野市立第一中学校

38	研修部長	土橋 和三	長生村立長生中学校 (教頭)
39	研修副部長	長野 賢治	船橋市立金杉小学校 (教頭)
40	研修副部長	稀代 嘉規	千葉県総合教育センター
41	研修副部長	北根 晃一	千葉市立幕張中学校
42	研修副部長	武満 直登	市立稲毛高校附属中学校
43	研修副部長	木村 訓久	船橋市立葛飾中学校
*	会計部長	中川 好美	千葉市立稲浜小学校
44	会計副部長	高木千佳子	船橋市立法典西小学校
45	会計副部長	竹田 浩子	千葉市立磯辺第三小学校
46	会計監査	西村 保広	千葉市立こてはし台中学校
47	会計監査	仁平 義彦	船橋市立習志野台第一小学校
48	幹事	山岸 彰	千葉市立花園中学校
49	幹事	小石 伸一	千葉市立さつきが丘中学校
50	幹事	栗田 謙正	千葉市立生浜中学校
51	幹事	浦田 祥子	船橋市立葛飾小学校
52	幹事	清水 拓也	松戸市立相模台小学校
53	幹事	中澤 智章	松戸市立馬橋北小学校
54	幹事	芝山 宗央	松戸市立古ヶ崎中学校
55	幹事	百瀬 正洋	市原市立白金小学校
56	幹事	加藤三保子	九十九里町立九十九里中学校
57	幹事	蜷川 俊之	香取市立佐原小学校
58	幹事	宮本 裕子	千葉市立葛城中学校
59	幹事	丸山 隆	千葉市立若松中学校
60	幹事	引地 清人	千葉市立花見川第一中学校

※ 19年度、会に参加または、会費を納入された方には、役員をお願いしています。

千葉県組織の拡大、発展のために力を合わせましょう。

4 平成19年度 決算報告 (単位円)

収入の部		支出の部	
項目	予算額	項目	予算額
前年度繰越金	60,898	会議費	17,560
年会費	94,000	通信費	14,076
研究助成金	50,000	事務費	8,105
利息	8	全国・大会援助費	29,000
		関ブロ大会援助費 (分担金)	19,000
			12,920
		研究・研修費	0
		予備費	
合計	204,906	合計	100,661

本研究会は会員の会費収入をもとに活動が成立しています。今年度の**年会費 (2,000円)**を未納の方は、各支部長または会計担当者まで至急納入していただくようお願いいたします。

なお、振込みをされる方は次の口座に「千葉県海外子女教育・国際理解教育研究会年会費」と明記されるようお願いいたします。

千葉県海外子女教育・国際理解教育研究会年会費振込先
郵便振り込み 記号 10520-2 番号 4190101
名前 千葉県海外子女教育研究会

第 35 回全国海外子女教育国際理解教育研究協議大会（鹿児島大会）報告

千海研副会長 川畑悦郎（千葉市立真砂第五小学校長）

大会主題「世界と子どもをひらき、つなぎ、つむぐ教育をめざして」

－海外子女教育を活かす－

8月5日（火）～8月7日（木）鹿児島市・かごしま県民交流センターにおいて全海研の鹿児島大会が開催されました。5・6日の二日間でしたが会長の代理として参加いたしましたので報告いたします。



実践事例発表の様子

8月5日は13:00から全国代表者会に出席いたしました。各県の代表者から各県の組織や活動の様子が紹介されました。その中で司会から「『海外に一番近い県』（千海研）として活動している千葉県の代表者をお願いします。」と発言を求められ、千海研として最初に昨年の柏市で開催された全国大会への協力にお礼を述べた後、本県の活動を紹介いたしました。また、2010年に予定されている関東ブロック大会への協力をお願いいたしました。15:30から文科省の国際教育課の飯塚氏より講話がありました。その後、場所を変えて懇親会が開催されました。鹿児島を中心に九州各県の会員と全国の会員の方々が情報交換をする光景が会場のいたるところで見られました。

8月6日は10:00から5分科会会場で実践事例発表会が行われました。

第一発表会場では英語活動・多言語活動の実践

第二発表会場では海外子女教育等の実践

第三発表会場では外国人子女教育の実践・国際理解教育の実践

第四発表会場では帰国子女教育の実践・海外子女教育等の実践・各都道府県組織研究会の実践

第五発表会場では管理職の実践

本県からは第一発表会場で浦安市立美浜中学校の山下美峰先生が「国際補助語としての英語に関する一考察 ～その成立、多様化、そして日本英語を考える～」と題して発表いたしました。

昼食時鹿児島市の小学生によるジャズバンドの演奏がありました。昼食をはさんで午後から開会行事（会長挨拶、文部科学省挨拶、財団挨拶、鹿児島県教委挨拶、会務報告）が行われました。続いて全海研副会長の齋藤 仁氏の基調提案後、シンポジウム：海外子女教育を活かす「どう活かしたか、どうかすのか、海外体験」が行われました。コーディネータとして佐々木豊氏（全海研副会長）パネラーとして佐賀県の佐保文明氏（台北日本人学校を体験）長崎県の松本直道氏（クアラルンプール日本人学校を体験）鹿児島県の深川光久氏（上海日本人学校を体験）の3氏が在外教育施設派遣を通じた経験・実践を紹介し、その経験・実践が今の立場で国内の教育実践にどのように活かしているかを発表しながら、現下の日本の教育の展望を拓く視点を話し合いました。

2日目の夜も懇親会が昨夜と同じ場所で行われました。猛暑の続く中、桜島のエネルギーの熱さ、「篤姫」の熱さで例年よりも暑い鹿児島でした。それにもまして全国の会員を歓迎しようという鹿児島の会員の思いが熱く感じる大会でした。



開会行事の後のシンポジウム

第 19 回全海研関東ブロック神奈川大会 参加報告

千海研事務局長 山下 亮（船橋市立葛飾小学校）

大会主題 「新たな国際化へのチャレンジ！」

～横浜開港 150 周年を前に & ブラジル日本移民 100 周年～

8 月 23 日（土）横浜市みなとみらいにある JICA 横浜において、参加者約 200 人で開催されました。古山会長と事務局で全日参加いたしましたので以下、報告します。

- (1) 開会行事…主催者挨拶（全海研）（県組織）来賓挨拶（横浜市教委）（神奈川県教委）
- (2) 講話（文科省が都合により欠席し、急遽、海外子女教育振興財団から「海外子女教育について」）
- (3) 講演（横浜 FC 会長 奥寺康彦氏）自身の幼少時代から今に至るまでの経験を通して、国際人として必要な資質についての講演。
- (4) 分科会

第一（海外・帰国児童生徒教育）では、カイロ、アテネ、台北の在外教育施設から帰国された先生から、報告がありました。現地校との交流や英語教育のニーズと実践、国際結婚により、二重国籍を持つ児童生徒の教育についての課題が話し合われました。第二（国際理解教育・多文化共生教育）では、JICA 等外部関連機関と連携した取り組みや多文化共生に向けた学校教育、外国人ボランティアによる NPO の活動が紹介されました。第三（英語活動・英語教育）では、特区として、重点的に英語活動に取り組んでいる小学校の事例が 2 校と大学院の研究から、「国際補助語としての英語に関する一考察」が発表されました。第四（海外派遣に関わるセミナー）では、派遣経験者から、在外教育施設に勤務を希望する教員を対象に、派遣や在外教育施設に関する基本情報や心構えなどがワークショップ形式を取り入れながら、説明されました。

どの分科会も人数は、少なめ（20～30 人）でしたが、落ち着いた雰囲気、熱心に話し合い、質疑がされ、今後の課題が明らかになる内容でした。

- (5) その他

会場の提供をはじめとして、JICA 横浜の協力を得ることができたことはよかったですと思います。分科会の発表も帰国教員のみではなく、JICA、NPO 法人、大学院の研究者など様々な立場からの発表で国際教育の方向が議論されました。また、派遣希望者のためのセミナーも開催され、今後につながりが持てる研修会でした。少し残念だったのは、交通が便利な会場であったのに、県外からの参加が少なかったことです。関東ブロック大会は、休日開催がよいか平日開催がよいかは、いつも問題になりますが、何れにしても各県会員の意識向上と大会の周知、広報が必要です。大会に向け、神奈川県組織では、度々研修会を行い、多くの会員の参加を促しました。

21 年度は、山梨県開催。そして、22 年度は千葉県開催になります。今年度から実行委員会を立ち挙げて準備をすすめていきますので、皆様のご参加ご協力をお願いいたします。



シニア派遣研修会

千海研 顧問 布川 宏（前松戸市立古ヶ崎中学校長）

平成19年度から今までの派遣制度に加え、原則65歳までの在外派遣教師経験者の「シニア派遣制度」が発足し、派遣制度が大きく変わることとなりました。当面管理職経験者で日本語補習授業校に限られていましたが、2年目は10名中3名が日本人学校に派遣されています。本会のシニア、横山富夫先生が千葉県の実験者としてこの春、ストックホルム補習授業校に着任されたのはご承知の通りです。海外で苦しんでいる派遣教師の質的向上を担うため、帰国教師の豊かな経験、管理職の体験・知識等を再び活かしていきたいという「再チャレンジ精神」を期待しての施策でしょう。しかし文部科学省の予算節約上これから増加していくとみられます。したがって、一般教諭等も在外教育施設への間口も広がっていくことが予想されます。

全海研では、日本人学校に比べ認知度の低い補習授業校をもっとよく知ってもらうために各地で『補習校フォーラム』を開いています。と同時に『シニア派遣教員希望者研修会』も年2回実施しております。その内1回目をこの7月、「さわやかちば県民プラザ」で開き、本会からも数名参加いただきました。特に古山会長には千海研を代表して挨拶をいただいたところです。

補習授業校は、簡単に言えば海外で現地校に通学している子どもたちに、帰国しても困らないように主に国語・算数（数学）を中心に休日を利用して年40日ほど補習を行う在外教育施設です。少ない日数で国内の1年分を学ばなければいけないのでたいへんです。今、そのために全海研では補習校のカリキュラム作りを海外子女教育振興財団の委嘱を受けて取り組んでいます。その編集員として、松戸市より森山（国語4年）、熊倉（国語5年）両先生が参加しています。興味のある方は協力をお願いするとともに、紹介した全海研の行事も覗いてみて下さい。

2つの故郷 ～全国大会のいつもの光景～

全海研 事務局次長 松井 聡（市川市教育センター）

篤姫ブームに燃える鹿児島で、第35回の全国大会が開催されました。

8月5日（火）の全国代表者会では、古山会長の代理として出席された川畑副会長が参加、全国各組織の活動状況等の意見交換を行いました。8月6日（水）～7日（木）は、実践事例発表会・シンポジウム・テーマ別分科会・トーキングテーブルなど、盛りだくさんのメニューでした。浦安市の山下美峰先生が英語教育の実践発表をされるなど、千海研も発表・運営等で協力いたしました。

大会のテーマは、「世界と子どもをひらき、つなぎ、つむぐ教育をめざして ～海外子女教育を活かす～」でした。私たちが海外で得たものは何だったのか？を深く思い起こして、今後の教育活動に活かしていくために、大いに学び合った3日間でした。鹿児島の先生方は熱かったですよ！

千海研に参加する私たちには、「故郷」と呼べる場所が2つあります。一つは「千葉」、もう一つは、それぞれの「赴任地」です。大会会場でも、その後の懇親会でも、「千葉には〇〇先生がいるでしょ、あの先生にお世話になって・・・」とか、「鹿児島は、赴任地の〇〇で先輩だった先生がいて、今回は家族で会いに来たんですよ！」などの話に花が咲いていました。そういえば、今年の柏大会でも、ほぼ同様の光景がありました。

海外での収穫（財産）の一つが「出会った人たち」です。帰国後も、「2つの故郷」を大切に思い、積極的に動くことで「人」との出会いを引き寄せ、力にしていきたいと感じました。

各支部からのお便り

安房支部

安房支部長 押元 文博
(南房総市立健田小学校長)

私達の支部では、平成13年1月に、千海研にならない、安房海外子女教育研究会を発足させました。現在、退職者と現職者を合わせて、20名の会員からなります。退職者も一緒というのが特色かと思えます。

主な活動は、3月の派遣教員激励会と8月の帰国報告会です。事業の目的は、「①国際理解教育に関する認識を深める②海外へ派遣される教職員に対しての助言を行う③海外から帰国した教職員の報告会を開催する④会員相互の親睦を深める」です。

これまでに、激励会を5回、報告会を4回、休日、昼食をかねて行ってきました。常時12～14名ほどの参加があります。会員個々が任意に講演会を依頼されることはありますが、会として特にこの事業は行ってはいません。しかし、他国の文化とそこに彩られた教育実践は貴重な財産といえるので、この交流会と組織があることは、今後、地域にとって何らかのお役に立つことと思っています。



市川支部

市川支部長 本多 成人 (市川市立信篤小学校長)

市川支部は毎年夏に総会を開いております。退職された方を含め会員に葉書で通知し参加を問う形で行っています。31名(派遣中3名)が会員でこの夏は12名が参加し、千海研報告や会費徴収、近況報告を行いました。また、派遣決定者には激励会、帰国者には報告会を退職者には退官記念パーティを行っております。派遣中の教員とはメールでやり取りをし、連絡を絶やさないようにしています。

千葉支部

千葉支部長 行木 一夫 (千葉市南部青少年センター)

千葉支部では、国際理解教育とともに、海外へ派遣されている方への支援とともに、海外の日本人学校、補習授業校からの情報も取り入れ、各小・中学校の児童・生徒の国際理解教育に役立てるようにしている。

次の内容の活動を行っている。

- 日本人学校、補習授業校に派遣された先生方が各小・中学校でその経験を活かせるような環境作りを派遣された先生方の協力のもと実施している。
- 先生方の海外での経験を児童・生徒に話し、国際理解を児童・生徒が深めるように努力している。
- これから派遣希望をしている先生方そして、市内の先生方の国際理解教育の支援になればと思い、派遣経験の先生方の経験談を話す機会を設け、研修を実施している。
- 派遣された先生方がそれぞれの職場で働きながら、自分の経験が活かされるためにも親睦会を設け、それぞれの会員の交流を図っている。

以上のように、千葉支部では、千葉市の国際理解教育の発展のため、派遣された経験を各職場で各自が力量を発揮し、協力し、微力ながら努力しています。

船橋支部

船橋支部長 末永 明義（船橋市視聴覚センター）

船橋市海外子女教育・国際理解教育研究会（船海研）は、現役会員のみで構成され、現在、派遣中を含め、26名の会員数となっている。本研究会の会員は、教育職員籍の退職と同時に離籍する。活動は、年間2回の会員研修会を軸に、会員同士の交流、情報交換、授業研究支援等を行っている。

最近の活動としては、平成20年3月8日（土）に海外派遣教員激励会を実施した。国内会員22名中、16名の参加があった。また、平成20年6月27日（金）に帰国報告会を実施した。国内会員24名中、参加者18名。他1名の来賓があり、合計19名の出席があった。

3月の派遣激励会では、2名の海外派遣教員に対し、先輩会員から様々なアドバイスとともに、各赴任地における経験者ならではの体験談等が語られた。主賓の2人は、会の進行と共に、段々と海外へ赴く実感がわいてきたようで、表情に充実感のみなぎっていくのが感じられた。会の終盤、私から派遣者にその日成田山から拝領したお守りを贈ると場の盛り上がりは、最高潮に達した。今頃、お守りを何処に置いて、どんな日々を送っているだろうか、と想像してみるのも楽しいものだ。

6月末、今年帰国した2人の派遣者を囲んで帰国報告会を実施した。報告者の2人から、3年間の生々しい体験談が語られると、その場の参加者全員、海外の新鮮な空気を吸い込み、新たな力がみなぎった。また、この席に、本市教育委員会教育長の出席があり、多忙で激務の中を最初から最後まで参加し、会員の話に耳を傾けてもらうことができた。報告者も会員も、最初はやや緊張気味であったが、だんだんと座がくだけ、一段と充実した研修となった。

なお、この会の席上、次回の研修会から青年海外協力隊経験者も会員として、招くことが全会一致で決まった。

東葛支部

東葛支部長 平 彰夫（松戸市立幸谷小学校長）

東葛支部は、平成19年12月に産声をあげました。本地域は在外教育施設勤務を経験した教員は、それほど多くはいませんが、地域的には、海外からの帰国生は多く、国際理解教育を熱心に実践している学校も多くあります。これまでも会員は、帰国後もそれぞれに確かな実践を継続し、所属校や地域の国際理解教育に貢献し、成果も上げていたのですが、組織的な活動や取り組みが希薄でした。

そこで、教員の世代交代の時期を迎えたのを機に、在外教育施設で働きたいという願いを持っている若い先生方に適切な情報を提供し、夢を叶えるお手伝いをしてあげたいと考え、組織を立ち上げた次第です。また、合わせて各会員のより充実した実践活動のための情報交換の場にしたいと考えました。設立の会には、全海研の生野会長にもご出席いただき、会員の近況報告と現在の活動状況について情報交換いたしました。

今後とも海外子女教育や国際理解教育の動向を俯瞰しながら、東葛地域の実態を見据えた活動を緩やかに展開していくとともに、会員自身の活動の充実を図っていきたいと考えています。

長生支部

長生支部長 佐川 和弘（長柄町立長柄中学校長）

「日本語を全く理解できない児童・生徒が入ってきて困っているのですが・・・」という声が管内の学校から寄せられることが多くなってきました。長生支部内の小中学校でも帰国子女とともに外国人児童生徒の増加が見られる中で、国際理解教育、日本語指導も含めて精神的な適応指導でも私たちの経験を生かすことが重要になっています。今後、こうした児童生徒を支援するためにも情報交換を密にし、効果的に成果をあげるための組織的活動の必要性を感じているこの頃です。

平成 20 年度帰国教員

お帰りなさい！ 千葉県で頑張りました。

NO	氏名	在籍校	派遣先学校名	派遣年度
1	高山 直樹	千葉市立若松小学校	高雄日本人学校	16年度
2	竹田 浩子	千葉市立磯辺第三小学校	シンガポール(ク)	17年度
3	高木千佳子	船橋市立法典西小学校	シンガポール(チャ)	17年度
4	佐藤 大作	大網白里町立白里小学校	バンコク	17年度
5	成田 政人	銚子市立第二中学校	天津	17年度
6	川村 知子	流山市立鱈ヶ崎小学校	上海	17年度
7	板橋 和枝	浦安市立日の出南小学校	香港 (香港小)	17年度
8	野中 栄生	船橋市立古和釜中学校	サン・ホセ (校長)	17年度
9	池田 公男	南房総市立南小学校	ローマ (校長)	17年度
10	鶴岡 保雄	千葉市立真砂第一中学校	デュッセルドルフ (校長)	17年度
11	垣内 信子	千葉市立西の谷小学校	ブラッセル	17年度
12	三寺 和人	成田市立玉造中学校	ワシントン補習授業校	17年度
13	清田 正美	千葉市立椿森中学校	中部テネシー補習授業校	17年度

平成 20 年度派遣教員

行ってらっしゃい！ 派遣先で活躍を。

NO	氏名	在籍校	在籍校
1	大谷 彰夫	ジャカルタ	千葉県立松戸特別支援学校
2	掛川 良治	シンガポール・クメンティ	八千代市立萱田小学校
3	佐藤 剛	シンガポール・クメンティ	山武市立豊岡小学校
4	三浦 信宏	深セン (校長)	千葉市立瑞穂小学校
5	畠山 英也	香港・香港小	千葉市立鶴沢小学校
6	杉野 直美	マニラ	千葉市立花園中学校
7	佐瀬 実代	クアラルンプール	船橋市立法典西小学校
8	浅野 英樹	グアム	船橋市立習志野台第一小学校
9	保田 征	グアテマラ	松戸市立八ヶ崎小学校
10	鈴木 博子	ミラノ (校長)	千葉県立印旛特別支援学校
11	福永 倫子	アムステルダム	君津市立小糸中学校
12	溝越 信夫	バルセロナ	千葉市立幕張南小学校
13	三澤 晴恵	メルボルン	君津市立周西中学校
14	金子 広二	ヨハネスブルグ	浦安市立日の出小学校
15	横山 富夫	ストックホルム補 (校長)	前会長

平成 21 年度千海研 派遣教員激励会

○日時 平成 21 年 3 月 1 日 (日) 12:00~14:30

○会場 ポートプラザちば (京葉線千葉みなと駅前)

※ 千葉県から派遣される先生方を盛大に送り出しましょう。当日は、会員の懇親を深めるとともに、海外派遣や国際教育についてのいろいろな情報も得られます。是非、多くの方々の参加をお待ちしています。

☆ 千海研の役員として、ご協力いただける方を募集しています。事務局までご連絡ください。★